



北海道東川高等学校

HIGASHIKAWA HIGH SCHOOL GUIDE BOOK 2023



夢への第一歩！ ^{ここ}東川ならできる ^{ここ}東川から始まる





未来に挑戦!

本校は校訓「美風慣行・自律創造」のもと、勉学に加え学校行事や部活動などを通じて人間力を高め、心身を鍛え、社会に貢献できる人材の育成を目指し、この案内で紹介している取り組みを実践しています。

高校の3年間は人生のほんの一瞬ですが、「高校生だからできること」、「高校生だからやらなければならないこと」、「高校生だから味わえる思い」があります。

中学生の皆さん「東川(こ)ならでる、東川(こ)から始まる」の思いを胸に、一緒に未来に挑戦していきましょう。

1. 学校教育目標

校訓 美風慣行 自律創造

他人の気持ちや考えを理解し、適切に行動する人材の育成 【美風】
自ら目標を定め、その達成に向け主体的に努力する人材の育成 【自律】
互いに高め合い、協働して社会に貢献する人材の育成 【創造】

2. スクール・ミッション

- ・個々の生徒の特性等に対応した学習指導及びキャリア教育を通じて、主体的な進路の選択決定をするための資質・能力を身に付けた生徒の育成
- ・地域(唯一)の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成
- ・集団生活や特別活動等を通じて、自らの個性を伸長するとともに、豊かな人間性を身に付けた生徒の育成

3. スクール・ポリシー (3つの方針)

育成を目指す資質・能力に関する方針

福祉mindの育成
至誠心、受容力、共感力

東川mindの育成

Challenge mindの育成
主体性、行動力、創造力

Glocal mindの育成
社会性、協働性、コミュニケーション力

教育課程の編成及び実施に関する方針

- ◇ 生徒が豊かな心・思いやりの心と自主自律の精神を持ち、互いを高め合う実践を推進する
- ◇ 地域の支援を最大限に活用し、進路希望の実現を果たすとともに、地域社会へ貢献する人材を育成する
- ◇ 個々の目標に向けた努力を支え、魅力ある教育活動を展開する

入学者の受入に関する方針

- ◇ 基本的生活習慣が身に付いており、次の両方を満たす生徒
 - 1 高校生活に明確な目標を持ち、意欲を持って学習に取り組む生徒
 - 2 部活動や特別活動に積極的に関わり、入学後もそれらの活動に意欲的に取り組む生徒

校章



昭和26年6月8日、公募作品の中から制定。東川町の基幹産業でもある「米」という字の上に「東川」の字をあしらひ、さらにその上に「高等学校」の「高」を表したものです。

東川高校は、東川町及び周辺町村の発展を担う青少年のための教育機関として開校し、現在に至っています。本校の校章は、「お米」と「教育」と周辺町村の「発展」を象徴するものとなっています。



沿革概略

- | | |
|-------|---|
| 昭和23年 | 北海道立永山農業高等学校東川分校として設置認可 |
| 昭和24年 | 東川中学校校舎で開校 |
| 昭和26年 | 北海道東川高等学校独立設置認可 |
| 昭和33年 | 普通科設置認可 |
| 昭和50年 | 全日制課程2学級設置 |
| 昭和53年 | 道立修管 |
| 昭和59年 | 校訓制定(美風慣行・自律創造) |
| 平成7年 | 東川町生徒国際交流派遣事業参加開始 |
| 平成10年 | 創立50周年記念式典挙行 |
| 平成11年 | ホームヘルパー講座開始 |
| 平成21年 | 居宅介護従事者講座開始 |
| 平成24年 | 東川町派遣ラトビア語学研修開始(2名参加) |
| 平成25年 | 全身体障害者移動介護従事者養成研修開始 |
| 平成26年 | 介護職員初任者研修講座開始 |
| 平成27年 | 東川町派遣台湾・カナダ語学研修開始(各2名参加) |
| 平成28年 | 東川町派遣ラトビア・カナダ・台湾語学研修(各2名参加) |
| 平成29年 | 東川町派遣ラトビア・台湾語学研修(各4名参加) |
| | 文部科学省指定「国際教育に係る研究開発学校」 |
| | 幼・小・中・高連携(H29～R3年度) |
| 平成30年 | 創立70周年記念式典挙行 |
| | 東川町派遣ラトビア・カナダ・台湾語学研修(各2名参加) |
| 令和元年 | 東川町ロシア・ラトビア・カナダ・台湾語学研修(ロシア4名・ラトビア2名・カナダ2名・台湾2名参加) |



多様な学習活動で可能性を伸ばす 学習と資格

一人ひとりの理解度・学習の進捗状況にあわせて、きめ細かな教育活動を進めています。
また、生徒の進路希望にあわせた指導も充実。授業はもとろん、進路講習・資格取得講座も実施し、将来へのサポートに力を入れています。
こうした取り組みが実を結び、近年では国公立大学や道外私立大学にも進学しています。



挑戦することで見えてくる、次のステップ

東川高校では、生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出すために様々な取り組みを行っています。



基礎基本を重視した授業展開により、基礎学力の定着を図っています。生徒は、「わかる」楽しさを知り、更に「知りたい」と感じ、主体的に学んでいます。そんな「生徒のやる気」に応え、始業前と放課後の時間に「あさべん」「ほかべん」と称し、学習スペース（図書室・多目的ホールなど）を開放しています。放課後は、部活動や講習の時間に充て、始業前の時間を有効に活用している生徒や、「家より集中できる、わからないところを先生に質問できる」ということで利用している生徒がいます。

また、どのくらい学力が身に付いたかを実感するためにも、各種模試の受験や資格取得を推進しています。東川町からの支援で、模試受験や資格取得のための費用の半額が補助されます。多くの資格を取得することによって、就職・進学に向けての自信にも繋がっています。東川高校は、みなさんの進路実現を全力でサポートします。



学習活動…さらに一歩を進めるプラスワン・プログラム

●進学講習・資格取得講座の実施

- A. 進学講習（放課後／夏期・冬期）
大学・看護・医療系学校への進学に向けたきめ細かなサポート
- B. 1年次の東川学で、全員がガイドヘルパー（全身性障害者移動介護従業者養成研修）の資格取得を目指します。また、希望者にはより上級の資格である「介護職員初任者研修」の講座受講と資格取得も可能です。
- C. 各種検定

全商ビジネス文書実務検定（旧ワープロ検定）／全商情報処理検定／全商ビジネス計算実務検定／全商英語検定／全経電卓検定／漢字検定／実用英語技能検定／硬筆・毛筆書写技能検定

※上記、全員受験する検定以外の各種検定の半額は東川町より補助されます。
例）検定料1,000円の場合は、申請により500円補助されます。

●ボランティア活動の推進

- A. 東川養護学校・社会福祉協議会との交流（運動会・学会の手伝い・地域交流会など）
- B. 写真甲子園サポーター
- C. せせらぎ水路の清掃活動

●学力向上への取り組み

基礎力診断テスト・朝学習・実用英語検定取得のための講習

●インターンシップ（職場体験学習）の実施

東川町・東神楽町・旭川市計27事業所で実施（2年次8月実施）



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	現代の国語	言語文化	地理総合	公共	数学Ⅰ	数学Ⅱ	化学基礎	体育	保健	音楽Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	家庭総合	情報Ⅰ	東川学	総合的な学習の時間															
2年	論理国語	文学国語	歴史総合	数学Ⅱ	数学Ⅲ	生物基礎	体育	保健	音楽Ⅱ	英語コミュニケーションⅡ	家庭総合	情報Ⅱ	総合的な学習の時間																	
3年	論理国語	文学国語	地理探究	政治経済	数学Ⅲ	物理基礎	地学基礎	体育	英語コミュニケーションⅢ	情報Ⅲ	選択Ⅰ	選択Ⅱ	選択Ⅲ	選択Ⅳ	総合的な学習の時間															

(1) 1年次「東川学」は、福祉探究学習と地域探究学習

(2) 選択Ⅰは「論理・表現Ⅰ（英語）」「ビジネス基礎」「体育基礎」から選択

(3) 選択Ⅱは「時事問題研究」「数学研究」「生物研究」「生涯スポーツ」から選択

(4) 選択Ⅲは「小論文研究」「発展数学」「音楽Ⅲ」「英会話」から選択

※2・3年生の教育課程は、変更になる可能性があります。